

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

工 事 名

工事場所

製 品 名

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





受 付 日：令和 2 年 2 月 21 日

〔碎砂〕

久木田研石林氏云杜

令和 2 年 4 月 1 日

発行責任者 所長 小林 宏成



骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田碎石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和2年2月21日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村 嘉孝
試料搬入日		令和2年2月21日
試験日		令和2年2月22日 ～ 令和2年3月31日

試験体種類		産地
細骨材	砕砂	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	3.11
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	1.4
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.73
		実積率 %	65.5
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	淡い
密度及び吸水率試験	JIS A 1109	表乾密度 g/cm ³	2.68
		絶乾密度 g/cm ³	2.64
		吸水率 %	1.57
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	—
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	1.4
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.02
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	0.000
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		煤田 直也	
試験担当者		煤田 直也	

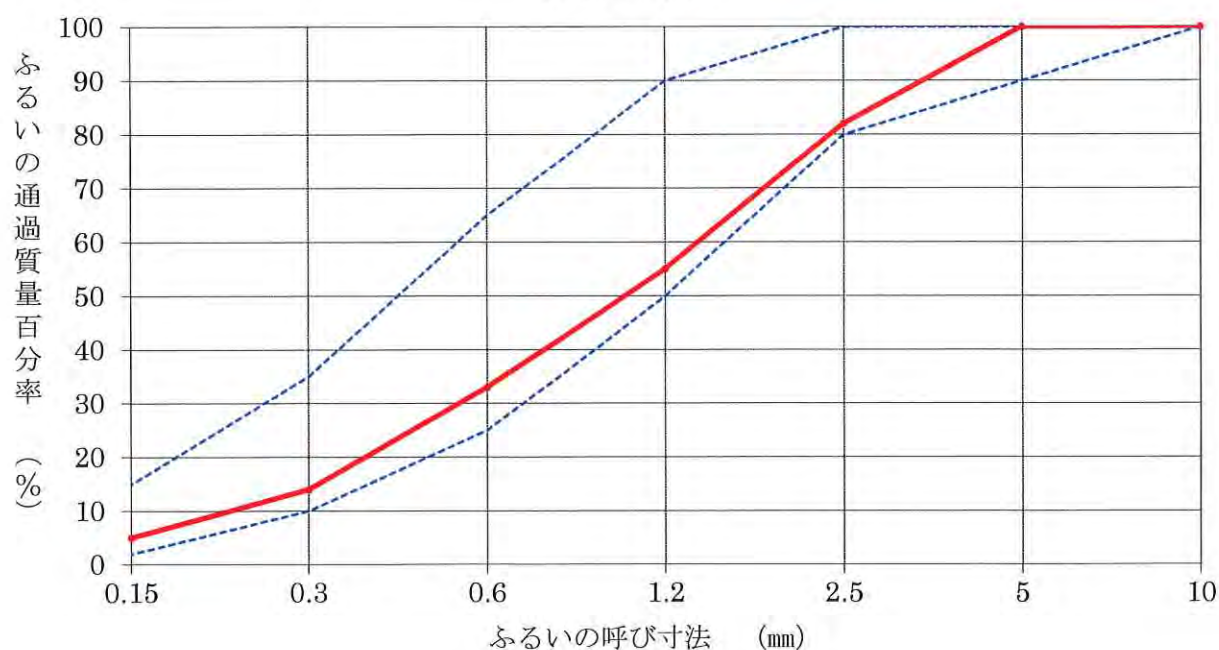
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（細骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 2 年 2 月 28 日			
試料	種類	砕砂	最大寸法	5mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 2 年 2 月 21 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	554.4	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
10	0.0	0	0	100
5	0.0	0	0	100
2.5	98.3	18	18	82
1.2	151.1	27	45	55
0.6	120.8	22	67	33
0.3	102.9	19	86	14
0.15	50.9	9	95	5
受け皿	30.3	5	100	0
合計	554.3	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.02	粗粒率	3.11	
隣接するふるいにとどまる量の質量分率の差の最大値 (%)			27	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（細骨材）

試験担当者： 榎田 直也

細 骨 材				
試 験 日			令和 2 年 2 月 27 日	
試 料	種 類		砕砂	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 2 年 2 月 21 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)		m ₁	553.6	559.1
洗った後の試料の乾燥質量 (g)		m ₂	546.1	551.1
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)		A	1.4	1.4
2回の試験の平均値 (%)		$\bar{A}$	1.4	
平均値からの差 (規格値:0.3%以下)			0.0	



試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 2 年 3 月 17 日	
試 料	種 類		砕砂	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 2 年 2 月 21 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
単位容積質量	容器の質量	(kg) (1)	0.908	0.908
	容器の容積	(l) V	2.001	2.001
	(容器＋試料)の質量	(kg) (2)	4.361	4.360
	試料の質量 = (2)－(1)	(kg) m ₁	3.453	3.452
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$	(kg/l) T	1.73	1.73
	2回の試験の平均値	(kg/l) $\overline{T}$	1.73	
	平均値からの差	(規格値:0.01kg/l以下)	0.00	
実積率	試料の絶乾密度	(g/cm ³) d _D	2.64	
	実積率 = $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$	(%) G	65.5	

試験規格 JIS A 1105

細骨材の有機不純物試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日		令和 2 年 3 月 11 日
試 料	種 類	砕砂
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採 取 日	令和 2 年 2 月 21 日
	採 取 場 所	骨材堆積場
試 験 結 果 (標準色液又は色見本よりも)		淡い



試験規格 JIS A 1109

細骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 2 年 3 月 6 日	
試 料	種 類		砕砂	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 2 年 2 月 21 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
表 乾 密 度	水を満たした ピクノメータの全質量 (g)	m ₁	1185.8	1170.0
	表乾密度試験用試料の質量 (g)	m ₂	538.4	551.8
	試料と水で満たした ピクノメータの質量 (g)	m ₃	1523.8	1516.2
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_2 \times \rho_w}{m_1 + m_2 - m_3}$ (g/cm ³)	d _s	2.68	2.68
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\bar{d}_s$	2.68	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00	
絶 乾 密 度	表乾状態の 吸水率試験用試料の質量 (g)	m ₄	530.1	531.0
	乾燥後の 吸水率試験用試料の質量 (g)	m ₅	521.9	522.8
	絶乾密度 = $d_s \times \frac{m_5}{m_4}$ (g/cm ³)	d _d	2.64	2.64
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\bar{d}_d$	2.64	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00
吸 水 率	吸水率 = $\frac{m_4 - m_5}{m_5} \times 100$ (%)	Q	1.57	1.57
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	1.57	
	平均値からの差 (規格値:0.05%以下)			0.00

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—



試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（細骨材）

試験担当者： 榎田 直也

細 骨 材							
試 験 日				令和 2 年 3 月 31 日			
試 料	種 類			砕砂			
	産 地			福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
	採 取 日			令和 2 年 2 月 21 日			
	採 取 場 所			骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの		(g)	(g)	(%)	$\frac{① \times P_1}{100}$
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率 (%)	m_1	m_2	P_1	(%)
0.15	—	30.3	5	—	—	—	—
0.3	0.15	50.9	9	—	—	—	—
0.6	0.3	102.9	19	100.0	97.5	2.5	0.5
1.2	0.6	120.8	22	100.0	97.6	2.4	0.5
2.5	1.2	151.1	27	100.0	98.9	1.1	0.3
5	2.5	98.3	18	100.0	99.2	0.8	0.1
10	5	0.0	0	—	—	—	—
合 計		554.3	100	—	—	—	1.4

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

細 骨 材			
試 験 日		令和 2 年 3 月 10 日	
試 料	種 類	砕砂	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 2 年 2 月 21 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	614.9
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	614.8
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.02

注) 試験の回数は1試料につき1回とする。ただし、最初の試験で粘土塊量が1.0%を超える場合は再度試験を行う。

試験規格 JIS A 1144 4.b

細骨材の塩化物量試験

試験担当者： 煤田 直也

試 験 日			令和 2 年 3 月 12 日	
試 料	種 類	砕砂		
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採 取 日	令和 2 年 2 月 21 日		
	採取場所	骨材堆積場		
細骨材の試料※ (g)		—	1022.6	
試料のろ液 (ml)		V	50	50
28.2mol/L硝酸銀溶液 消費量 (ml)	始点 (ml)	a1	0.00	0.00
	終点 (ml)	a2	0.20	0.20
	a = a2 - a1	a	0.20	0.20
塩化物イオン量 (mgCl ⁻ /L)		C	4	4
塩化物の含有率 (NaClとして)		(%)	0.000	0.000
2回の試験の平均値 (%)			0.000	
[計 算] $C = \frac{a \times f \times 1000}{V} \times 1$				

※骨材の塩化物量試験に用いる試料溶液の調製は、JIS A 5002の5.5（塩化物）による。

- ・ 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・ 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・ 本試験結果の一部分を、当試験所の名称を付してカタログに記載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

株式会社 M・T 技研 中央材料研究所
〒 916-0068 福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723